



ふきのとう

第31号

【発行】
 社会福祉法人
 秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
 TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
 HP <http://www.fukinoto.or.jp>
 e-mail mail@fukinoto.or.jp




【目次】

- P 2 ・ 社会福祉事業団実践発表会及び
 基調講演
- P 3 ・ 研修報告～新任職員研修～
- P 4 ・ 施設PR記事（コロニー・高清水園）
 ・ 施設PR記事（訓練センター・点字図書館）
- P 5 ・ 平成29年度職員提案
 ・ 秋田県老人福祉総合エリア
 宿泊プランのご紹介
 ・ 平成29年度退職者
- P 6 ・ 〈仮称〉障害者支援センター御所野
 ・ 表彰

★FACEBOOK 随時更新中★

ホームページからも閲覧でき
 ます。詳細は、コチラから→



秋田県心身障害者コロニー～ふれあい交流会「由利高原鉄道乗車体験」より～

社会福祉事業団実践発表会及び基調講演

平成29年12月12日(火)、秋田拠点センターアルヴェエの多目的ホールを会場に「職員実践発表会」を開催し、一般市民の方々を含め、138名の参加がありました。

今年度の実践発表会は、株式会社毎日新聞社論説委員の野澤和弘氏をお招きし、「ともに生きるく自閉症の我が子からの贈り物」と題し基調講演していただきました。講演では、ご自身の子育てや社会問題・事件等の取材経験を元に障がいを持つ人の生きがいを創出する支援の重要性について、わかりやすく



お話していただきました。講演後は会場にて野澤氏の著書を販売し、握手やサインを求め人が集まりました。

実践発表では、北部老人福祉総合エリアから高校生を対象に福祉に関する見聞を広げるための福祉セミナーについて、次に高清水園からタブレット端末を活用した主に知的障がいを持つ人の意思決定支援について、最後に由利本荘地域生活支援センターから放課後等デイサービス事業から気付いた社会資源との連携の重要性について報告がありました。助言者の秋田大学教育文化学部講師の鈴木徹氏からは、3つの実践報告を総括して講評をいただき、我々職員は日々の支援における気付きを得て、これまでの業務を見直す良い機会となりました。



研修報告く新任職員研修く

平成29年11月30日(木)に秋田県中央地区老人福祉総合エリアの多目的ホールを会場に採用後1く2年目の職員を対象とした研修を開催し職員30名が受講しました。

午前の研修では、隣接する御所野地域包括支援センターけやきの職員を講師として迎え「認知症サポーター養成講座」を開催しました。講座では、認知症の症状について寸劇を交えて説明していただき、受講者からは「とてもわかりやすい。」と好評でした。午後からは、グループワークとして働き始めてからの楽しかったことや大変だったことを受講者同士で共有し、翌日からの業務の糧としていました。



心身障害者コロニー

「人と人がつながる中で」

コロニーの地域における公益的取組の一つであるふれあい交流会は、毎月1回様々な活動を通して地域で生活する障がいを持っていらっしゃる方々の交流を図っています。由利高原鉄道乗車体験、フラダンス、ミュージックセラピー、ジャズダンス、そば打ち体験、防災学習館で地震・災害対応を学ぶなど、活動も3年目に入り、今年度も様々な内容で開催しました。

そんな中で今年度の特徴は、地元社会福祉協議会と連携し、社会参加や就労を目指す方々に協力員として参加してもらったことです。職員と共に活動を盛り上げる事が出来たことが特筆されます。1回目の参加以降、顔を見なかった協力員が再び顔を出してくれた時は、職員にも笑顔が見られました。

参加者は毎月楽しみにして必ず参加してくれる方や、関心が持てる活動に参加する方など様々です。由利高原鉄道乗車体験ではカメラを片手に小さな旅を楽しみました。ジャズダンスでは一つの曲を皆で踊れるようになり、フラダンスでは地元の高校生との交流も見られました。年2回実施しているミュージックセラ



ピーでは講師とも顔馴染みとなり、笑顔の中で歌や楽器遊びを楽しみました。

活動を重ねていく中で、参加者、講師や職員、協力員が、いつの間にか一つの活動を通して笑顔で繋がって行く姿が見られました。「楽しかった」との感想から、「参加して良かった」との声が聞かれるようになり、活動の合間に相談員と参加者が気軽に声を掛け合う姿も見られるようになっていきます。

今後は地元社会福祉協議会など関係機関と連携を強めながら、人と人が繋がる楽しさを実感できるようにしていきたいです。そのためには、支援と言う概念ではなく、人と共に楽しみ、繋がる喜びを実感できる活動でありたいと願っています。参加者の繋がりと広がりを目指して、4年目は更にパワーアップした活動にしたいと思っています。



高清水園

放課後等デイサービス事業所「和く話く（わくわく）」

高清水園では、平成28年9月より、放課後等デイサービス事業所「和く話く」を開設し、今年で2年目となりました。

TEACCHプログラムのアイディアを活用した個別の支援や友達と過ごす心地よさや楽しさを体感できるような集団活動を行っています。放課後は、特に宿題や課題を終えてから活動するサッカーやトランプ等々の時間を楽しみにしている児童生徒が多いです。

長期休みは、近隣への散歩や公園に出かける機会も多く、地域とのつながりや短大生や大学生などの実習生との交流もありました。

また、季節感のある遊びや行事のおやつについては、小学生から高校生までの児童生徒が楽しめる経験や体験のひとつになるよう、職員が工夫を凝らしながら取り組んでいます。

今後も活動内容の充実を図り「和く話く」で過ごす時間を楽しみながら、心身ともに成長できるようにサポートしていきたいと思えます。



更生訓練センター

入浴サービス拡充の取り組みについて

秋田県身体障害者更生訓練センターでは、平成31年4月の秋田市御所野への移転改築に向け、様々な準備作業を進めているところです。このたび、移転に向けたステップアップの取り組みの一つとして、入浴サービスの拡充を行いましたのでお知らせいたします。

これまで、当センターでは一般浴サービスのみを提供してきましたが、利用者の皆様の様々な状態像（特に高齢化・重度化）に対応できるようにハード・ソフト両面の整備が求められてきています。

そこで、前述の移転改築を前に、平成29年12月に機械浴槽を導入いたしました。この機械浴槽では、ほぼ横になった姿勢のままで、一人ずつゆっくりと入浴が楽しめるほか、職員が利用される方と向かい合って介助するため、安全性も確保されています。

導入にあたっては、入浴支援にあたる職員全員を対象とした操作説明・体験研修のほか、同機種をすでに使用している阿桜園へ職員2名を派遣しての体験実習を行い、より安全にサービスを提供するための準備を進めてきました。現在まで、入所利用者5名の方々が機械浴槽を体験し、好評を得ています。

今後は、在宅での入浴に不便を感じていらっしゃる地域の方々にも、広く入浴サービスを利用していただけるよう、更に周知を進めると共に、新天地でも質の高いサービスを円滑に提供していくため、職員一同努めていきたいと思えます。



点字図書館

「点字普及啓発活動」

秋田県点字図書館では今、大人に点字を知ってもらおうという取り組みとして、〈フチ点字講座〉を開催しています。社会人の多くが所持している名刺。そこに自分で点字を打つというほんの少しの体験です。「点字を覚えるなんてハードルが高くて難しい」と思われるでしょうか。でもその点字が打たれた小さな名刺は、見ても触ってもわかる、目の見えない人と自分をつなげてくれる大きなコミュニケーションの道具となってくれます。

同様の活動としてはこれまで小学生を対象に〈夏休み点字図書館探検〉を開催し、いずれも好評でした。しかし、昨年の4月に「秋田県手話言語条例（通称）」が施行されたこともあり、「もっと大人へのアプローチも必要だ」と思うようになり、県の障害福祉課との連携を経て今回の取り組みに至りました。

〈フチ点字講座〉の参加者はまだ決して多くはありませんが、参加していた点字への理解が進むことで、参加者の表情が和らいでいくのを感じます。

今でこそ点字は身近な場所でもよく見かけるようになりました。でも実は間違っって使われていることがとても多いのです。そしてそれが間違っていることに気付かない人ももともと多いのです。「点字は目の見えない人にとって重要な文字であり情報である。」ということに対する世間の関心・認識はまだまだ薄いのが実情です。そのため私たちは目の見えない人に情報を提供する施設として、図書製作や貸出だけではなく、点字を広く伝え、知ってもらおう活動を今後も展開していきたいと考えています。



平成29年度 職員提案受賞提案

平成21年度より実施している職員提案制度も、今年で9回を数えました。職員自身が、日々の業務の中で感じている利用者サービスや業務内容等について、改善案を自由に提案するものです。提案は、その効果と実現性を検討し、法人、施設として積極的に取り組むこととしています。今年度は108件の提案がなされ、5名の方が受賞となりました。今後も創意工夫にあふれた提案を期待しつつ、サービスの向上を目指して取り組んでまいります。

Table with 4 columns: 表彰 (Award), 提案者 (Proposer), 所属 (Affiliation), 役職 (Position), 氏名 (Name), テーマ (Theme). Rows include awards like 優秀賞 (Excellent Award) and 優良賞 (Good Award) for various proposals.

提案件数：108件

当事業団が運営する北部老人福祉総合エリア(大館市)、中央地区老人福祉総合エリア(秋田市)、南部老人福祉総合エリア(横手市)では、各種スポーツ大会や合宿で宿泊施設をお探しの方々に向けて通常よりもお得な宿泊料金その他、数々の特典を盛り込んだ宿泊プランを用意しております。本宿泊プランの特典については次のとおりです。

Advertisement for sports group accommodation. Features a photo of a room and text: '団体宿泊・スポーツ合宿に最適。ご利用大歓迎です!!' and 'お一人様 1泊2食 ¥5,000~ (税込)'. Includes pricing for general and elementary school students.

秋田県老人福祉総合エリア スポーツ団体向け宿泊プランのご紹介

平成29年度 退職者

- List of retired staff members including names and titles: 秋田県社会福祉事業団事務局 理事・事務局長 熊谷公彦, 秋田県南部老人福祉総合エリア 支援部長 古関一美, etc.

やまばと園 主事 小玉潤弥 お疲れさまでした。
主事 住吉理咲
主事 伊藤愛久
主事 眞田久恵
主事 奥山陽子
主査(看護師) 福川陽子
課長補佐 三浦久子
支援部長 作佐部真理
秋田県心身障害者コロニー

一人ひとりにふさわしい生活をサポート。

〈仮称〉障害者支援センター御所野

平成31年4月
開所予定



秋田県身体障害者更生訓練センターの移転改築について

現在、秋田市新屋で運営している障害者支援施設「秋田県身体障害者更生訓練センター」は、平成31年4月に秋田市御所野の中央シルバーエリア隣地へ、「〈仮称〉障害者支援センター御所野」と名称を変更し移転改築する予定となっています。

移転改築後は実施サービスを施設入所支援40名、生活介護60名、短期入所2名、日中一時支援2名とする予定としています。現在実施している自立訓練（機能訓練）は廃止となりますが、これまで培った支援スキルを活かしつつ、設備面では身体状況に応じた複数の浴槽や完全個室を備えるなど、一人ひとりにふさわしい生活をサポートする事業所として御所野の地で新たなスタートを切るべく準備を進めています。

同施設についてのお問い合わせ等ございましたら、秋田県社会福祉事業団までご連絡ください。

表彰

○厚生労働大臣表彰

社会福祉事業従事功労者

秋田県心身障害者コロニー

課長補佐 三浦 久子

○全国社会福祉協議会 会長表彰

社会福祉法人・福祉施設功労

秋田県社会福祉事業団 事務局

事務局長 熊谷 公彦

○全国社会福祉協議会 会長表彰

永年勤続功労

秋田県心身障害者コロニー

課長 北林 静江

○全国社会福祉事業団協議会

永年勤続者表彰

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

主任技能技師 佐藤 猛志

高清水園

主任技能技師 阿部 瑞穂

技能技師 中村 満

秋田県心身障害者コロニー

主任技能技師 榎本 義弘

技能技師 小笠原 郁

やまばと園

主任技能技師 沓澤 寿子

秋田県身体障害者更生訓練センター

主任技能技師 高橋 陽介

受章おめでとうございます